

## 家庭と仕事の両立を支援 社内連絡もスピード化

### 全業務環境をクラウド化



経営者  
の声

代表取締役  
富山 孝治 さん

女性社員の増加に伴う家庭と仕事の両立支援と、移動時間削減による生産性向上を図り、テレワークを導入しました。業務環境のクラウド化に2012年から取り組み、2016年には顧客管理・経理業務・文書管理など全業務環境のクラウド化を完了。会社貸与のスマートフォンと通信端末を使用して、社外から業務ができるようになりました。

2018年の在宅勤務制施行後は、育児や介護をしている社員がテレワークを積極的に利用しています。在宅勤務を可能にしたことで、家庭の事情がある社員を、正社員のまま雇用継続できています。また、短時間正社員制度を導入し、本来であればパート雇用となる社員も、在宅勤務を利用可能としました。正社員と同じ待遇を維持して、モチベーションを保っています。外出先でもテレワークで顧客に対応でき、帰社後の作業がなくなったことは、時短につながっています。社内コミュニケーションや決裁のスピードも速くなりました。

### 家庭と仕事の両立が無理なく可能に



従業員の  
声

経営管理部リーダー  
津山 佳代 さん

月に1~2回程度、在宅勤務を利用しています。家族が病気になって出社できなくなったときも、自宅で業務を継続できるようになりました。Web会議に参加することもあります。また、社外の研修に参加するときにもパソコンを持参し、開始前や休憩時間に社員からの依頼に対応したり、メールに返信したりする場合もあります。今後、外部のサテライトオフィスでの勤務を計画的にすることも考えています。

以前は、子供を迎えに行かなければならないなど、どうしても残業ができなかったときは他の方に仕事をお願いするしかなかったのですが、今は必要に応じて自宅で業務を行えます。家庭と仕事の両立が無理なくできるようになりました。災害時や大雨などで避難勧告が出た場合にも、危険な思いをして出社せずに在宅勤務できます。社内コミュニケーションツールのおかげで、離れていても問題なく連絡が取れ、返事を待っていて仕事が進まないということはありません。